

2026年4月1日

医療法人弘遠会
すずかけヘルスケアホスピタル
病院長 久野智彦
事務部長・診療技術部長 小西政昭
看護部長 中村真由美
リハビリテーション技術部長 坪井歩

身体拘束ゼロへの挑戦 ―尊厳を守る、私たちの決意―

1. 私たちが目指す患者さん本位の医療

私たちは、患者さんの精神的自由と尊厳を守るため、「身体拘束ゼロ」を実現することを目標に掲げます。これまでの「安全のための拘束」という慣習を脱し、身体拘束ゼロを組織優先事項として推進します。

2. 具体的な取り組み *多職種による「身体拘束ゼロ推進チーム」の構築

医師、看護師、理学療法士・作業療法士・言語聴覚士、薬剤師、放射線技師、臨床検査技師、管理栄養士、歯科衛生士、介護士、社会福祉士等、患者に直接関わる全ての職種が連携し、拘束を「しない」ためのプランを策定します。

リハビリテーションによる機能回復:身体機能を高めることで、転倒リスクそのものを低減し、拘束に頼らない療養環境を構築します。

倫理感の醸成と不断の見直し:「切迫性、非代替性、一時性」の3原則を旧来の身体拘束基準ととらえ、常に代替手段を模索し続ける組織文化を築くと共に、常日頃の多職種チームのカンファレンス結果の振り返りと最新の医学的知見教育により、組織文化の醸成を行います。

3. 職員の皆様へ

現場で働く職員の皆さんの「安全を守りたい」という使命感と「拘束したくない」という葛藤に寄り添います。拘束を行わないことは、患者さんの自立を促す「創造的なプロセス」であり、医療の質を高めることにつながる理想的な医療のあり方です。必要な支援や環境整備は組織が責任を持って行います。

医療の専門性を発揮し、共に「真の安心・安全」と理想的な医療を築いていきましょう。